

## 2022 年度（令和 4 年度）第 1 回幹事会 議事録

日時: 2022 年 4 月 8 日(金) 13:00~14:50

会場: 大阪科学技術センター 7 階 700号室  
(大阪市西区靱本町1-8-4 電話06-6443-5324) 及び  
Cisco Webex を用いたハイブリッド開催

出席者（敬称略）

会場：奥田浩子，北隅優希，紀本岳志，駒谷慎太郎，許岩，鈴木雅登，竹田さほり，田中陽，中田靖，中原佳夫，向井浩，藤田芳一，村松康司，森澤勇介

オンライン：青山佳弘，浅川大地，石切山一彦，伊藤滋之，岩月聡史，大堺利行，大城敬人，岡本行広，糟野潤，金尾英佑，川崎英也，河原直樹，北山紗織，木村恵一，久保拓也，坂本英文，佐々木隆之，作花哲夫，下赤卓史，白井理，末吉健志，砂山博文，諏訪雅頼，瀬戸康雄，宗林由樹，高木達也，高原晃里，武上茂彦，田中章夫，茶山健二，塚越一彦，塚本効司，辻幸一，床波志保，鳥羽真由子，中島陽一，中原武利，西尾友志，西埜誠，萩森政頼，橋田紳乃介，久本秀明，藤森啓一，堀山志朱代，森内隆代，森田成昭，矢嶋摂子，山根常幸，山本佐知雄，山本雅博，吉田裕美，脇田慎一

0-1. 北隅庶務幹事より議事録作成のために会議の録画をすることの了承を得ること，また独禁法順守の宣言を行った

0-2. 前回議事録の確認

北隅庶務幹事より，資料 No.0 前回幹事会の議事録確認が呼びかけられた。

0-3. 支部長挨拶

池田重良先生，梅谷重夫先生の追悼を込めて黙祷を行った後，村松支部長の挨拶が行われた。

1. 役員紹介

村松支部長より資料No. 1に基づき役員の紹介があった。役員名簿の修正について，本部理事が追記されること，12条にそって大堺幹事の参与推薦が常任幹事会で承認されたので変更されることの説明があった。また，新幹事の紹介が行われた。出席している新幹事・新参与より挨拶が行われた。

2. 本部関係報告

(1)本部理事会報告

村松支部長より資料 No. 2に基づいて2022年2月22日に開催された理事会について，下記の点について説明があった。

- ・資料 No. 2-7, 2-8 理事会に出席する近畿支部会員の紹介
- ・資料 No. 2-16 本部事務職員の昇給幅が2号棒に
- ・資料 No. 2-17 キャッシュフローについて例年より会費の入金が遅いのは、会員システムがアトラス社に切り替りクレジットの入金が遅いため.
- ・資料 No. 2-18,27 Analytical SciencesのSpringerNature社への移管など大きな支出の変化があり、688万円の黒字となる予算案
- ・資料 No. 3-28,29 来年度黒字となること、遊休財産が事業費を超えてはいけないことを踏まえて、基金への積み増し予定.

これに関して会場より支部研究懇談会特定預金なども特定費用準備資金としてまとめられるのかという質問があり、次回理事会で確認するよう回答があった。

- ・資料 No. 3-42 会員数について減少傾向であるが5000人とどまっている
  - ・資料 No. 3-58 本部委員会功労賞の新設が検討中.
  - ・資料 No.2-64 2024年度の討論会について、今年度の後半には実行委員会を立ち上げる必要がある、支部長より前田先生を実行委員長にしての京都工繊大および近畿支部のバックアップをもつての開催を、前田先生に打診したことの説明があった.
- これに関して 京都工繊大の吉田幹事より、前田先生の伝言として、日程を5月18-19日に京都工繊大での実施を見据えて準備をすること、さらに、オール近畿での協力を要請する旨報告があった。

#### (2) 「ぶんせき」編集委員会報告

中原編集委員より資料No.3に基づいて報告があった。3月号からすべてオンラインとなったこと、投稿方法がwebベースになったこと、今後の特集について説明があった。また、近畿支部担当分の原稿について推薦をお願いすること、また執筆依頼の際にはお引き受けいただくよう要請があった。

#### (3) 「Analytical Sciences」編集委員会報告

作花編集委員より資料No4-1に基づいて報告があった。投稿数の減少が問題になっている事、リジェクト率を下げる検討、周囲への投稿勧奨のお願い、Springer-Natureへの移行に伴い科研費はなくなるが、費用が掛からない範囲でWG活動を続けること、Hot Articleを増やしてVisibilityを上げることの説明があった。支部会員においても、論文執筆時にAnal.Sci.の引用をお願いしたいとの、要請があった。

#### (4) 「分析化学」編集委員会報告

矢嶋編集委員より資料No5-1に沿って報告があった。高分子懇談会の特集号について、受付が23報と多く分冊される予定であること、昨年度と引き続きJ-STAGE急上昇ランキングが設立されること、分析化学産業技術論文賞の受賞者には討論会もしくは年会において受賞講演を依頼することの説明があった。

### 3. 2021年度 支部関係報告

## (1)2021年度近畿支部 事業計画の検討

北隅庶務幹事より資料No.6に基づいて、2021年度の事業報告が行われた。

## (2)2021年度近畿支部 会計決算報告

糟野会計幹事より資料No.7-3に基づいて、2021年度の決算の報告が行われた。昨年度との違いについて説明があった。

支部長より、年会の分配金が約130万程度あり、支部事務局より貢献を受けたので、お礼として新しいPCを購入した旨説明があった。

## 4. 2022年度 支部関係事業計画

## (1)2022年度 近畿支部事業計画

## ・ 常任幹事会・幹事会の開催日時・場所確認

北隅庶務幹事より資料No.8に基づいて、常任幹事会・幹事会の開催日時・場所の確認が行われた

## ・ ぶんせき講習会

岩月委員長が資料No.9の差し替え版を示し報告が行われた。2022年度の実行委員会の体制、今年度の講習会の準備上状況の説明が行われた。配布資料からの変更点として基礎編その2が会場貸出許可のめどがたたないため中止となる旨報告があった。また、1月の実行委員会にて話し合われた課題について説明があった。

基礎編その2の中止について幹事会として承認した。

会場から、チラシの講師の所属について大阪公立大の講師について変更するよう指摘があった。

## ・ 支部講演会WG

中田幹事から資料No.10に基づいて報告があった。今後の当日の支部講演会を含めて、準備状況について説明があった。第3回の講演者の推薦の呼びかけがあった。

## ・ 提案公募型セミナーWG

北隅庶務幹事より資料No.11に基づいて、提案公募型セミナーWGの報告が行われた。

## ・ ホームページ&amp;ニュースWG [資料 No.12] (責任者 鈴木 雅登 氏)

鈴木雅登幹事より資料No.12に基づいて、ホームページ&ニュースWGの報告が行われた。例年通り年3号の発行を目指す。後半に予定している記事が少ないので場合によっては2号になるとの説明があった。

## ・ 若手セミナーWG [資料 No.13] (責任者 久保 拓也 氏)

久保幹事より資料No.13に基づいて、若手セミナーWGの準備状況の報告が行われた。島津製作所の支援を受けて島津製作所本社三条工場およびホテル京都エミナースにて2年ぶりの対面開催を準備している旨説明があった。近日に募集を開始するので、学生さんをはじめ多くの参加をいただくよう呼びかけがあった。

## (2)2022 年度 近畿支部予算案

糟野会計幹事より資料 No7-3に基づき、2022年度の支部予算案が説明された。予算はすべて対面での開催を前提に2019年度の予算を参考に作成された。例年との違いとして、夏季セミナーが島津製作所の支援をうけるので、収入・支出ともに大きくなると説明があった。第70年会の分配金等から100万円を若手の会への基金に積み増すことについて審議した。

会場より、流動資産で置いておいた方が自由に使えるのではないかと指摘があった。基金化すると、本部理事会への承認が必要になることに注意して行うようコメントがあったが、承認された。

5. 2022年度支部役員選考委員候補者承認の件

北隅庶務幹事より推薦に基づいて、以下の委員の推薦を行い、意向を伺うことが報告され、承認された。

(敬称略)

理：中口譲（留任），安川智之（新任）

工：森内隆代（新任），辻幸一（新任）

農：白井理（留任）

医薬：萩森政頼（新任）

業界：西尾友志（留任），青山佳弘（新任）

8. 近畿分析技術研究懇話会

駒谷幹事より資料 No14 に基づいて、幹事会がハイブリッド開催のため、近分懇の賛助会員を昨年度用に募集していることが報告された。

7. その他

村松支部長より第58回X線分析討論会をX線分析研究会と共催する旨報告があった。